

# おおぞら 議会だより

## CONTENTS

### 6月定例会

役場庁舎大規模改修事業費などを予算化	2
議員6名が一般質問	4
①鈴木議員 自治会活動への支援について ほか	
②森賀議員 在宅介護支援について	
③川村議員 デジタル化の推進について	
④上地議員 今後のごみ処理の取り組みについて ほか	
⑤三條議員 農業振興策について ほか	
⑥後藤議員 行政サービス「書かない窓口」について	
議員研修会に参加しました	13
所管事務調査を行ないました	14



No. 65

OZORA  
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和4年(2022年)8月31日

大空に  
人花心  
育むまち



めまんべつ納涼盆踊りが3年ぶりに開催され、太鼓や笛の音が鳴る中、色とりどりの浴衣に身を包んだ大勢の子どもたちがやぐらを囲み、踊りを楽しんでいました。

# 一般会計9億4,874万円追加補正

# 総額86億8,508万円に

令和4年  
**6月定例会**  
6月28日～29日

大空町議会6月定例会は、令和4年度一般会計などの補正予算議案、条例改正議案、工事請負契約の締結、議会側議案などを審議しました。

算議案、条例改正議案、工事請負契約の締結、



改修を行なう女満別図書館

**Q** 女満別図書館大規模改修工事の概要を伺う。  
三條議員



観光夏まつりの様子 (平成30年)

り、コロナ感染対策が難しいと判断しました。歌謡ショーについては、感染対策を取りながら実施することが可能であると考えています。

**例月出納検査報告**  
2月から4月までの現金の出納状況および基金の状況について、検査結果の報告がありました。

**法人の経営状況報告**  
めまんべつ産業開発公社、東藻琴芝桜公園管理公社の経営状況について、報告がありました。

**線越明許費線越計算書の報告**  
大空高等学校交流拠点施設整備事業など13事業が年度内に完了しないため、30億2,714万4,000円を令和4年度へ繰り越した報告がありました。

**要望意見書**  
下記2件の要望意見書について、可決しました。  
**生涯学習 課** 壁塗装、内部改修、非常用照明のLED化、エレベーター改修などをを行います。

**河川浚渫 (しゅんせつ) 事業**  
三條議員  
浚渫工事の箇所等を伺う。

## 採択 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書 (要旨)

北海道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長が実現できるよう、施策の充実・強化を図ることを求める。

1. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
2. 森林資源の循環利用を一層推進するため、ICT等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の促進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援を充実・強化すること。

## 採択 食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る要望意見書 (要旨)

原油価格上昇やロシアによるウクライナ侵攻の長期化により、生産資材や穀物相場の高騰が続いていること、また、食料とエネルギーを輸入に依存しているため食料品等の値上げが相次ぎ、国民生活への影響が懸念され、新たな施策と予算の確保が不可欠であることから、食料の安定供給と農業の持続的発展のため、我が国の食料安全保障の強化と国民への理解醸成を図ることを求める。

1. 世界情勢の不安定化が今後も続くことが懸念されることから、政府が4月に示した原油価格・物価高騰等総合緊急対策の速やかな実施とともに、現場の経営悪化の状況も踏まえ、継続的な対策として拡充・強化すること。
2. 食料安全保障の強化に向けて、自国の食料は自国で生産・消費するという考えを広く国民に理解醸成を図るとともに、食料の安定供給の確保は国の基本的な責務として、将来を見据えた大胆な施策と新たな予算の確保を図ること。

★上記の要望意見書を全会一致で採択し、国に対して提出しました。

松川町政1期目がスタート  
町長の政策に係る補正予算が提案され、全会一致で可決

**物品の購入**  
効率的な除雪作業を行うための除雪トラック(10トン)1台、計量法で8年ごとの更新が義務付けられている水道メーター器(計598台)を購入することについて、可決しました。

**工事請負契約**  
大空高等学校交流拠点施設建設工事、広域穀類乾燥調製貯蔵施設建設工事の契約締結について、可決しました。

**規約の変更**  
北海道市町村総合事務組合、北海道市町村職員退職手当組合、北海道町村議会議員公務災害補償等組合の構成団体新規加入に伴い、規約を変更することにについて、可決しました。

**条例の一部改正**  
大空町国民健康保険条例など、2つの条例の一部改正について、可決しました。

**補正予算**  
令和4年度一般会計のほか、4特別会計の補正予算について審議し、可決しました。

**観光協会補助金**  
三條議員  
188万円追加補正する理由を伺う。

**産業 課長**  
観光夏まつりが今年度も中止となることから、代替事業として、町民応援花火大会とスタンドアップパドルボードのイベントを行うための補助金として計上しています。

**産業 課長**  
町内の消費拡大と町民への娯楽提供を旨とするもので、商工会加盟店において、令和4年8月から10月の期間中の買い物額が3万円以上の方を歌謡ショーに招待するものです。

**Q** おおぞら歌謡ショーの概要を伺う。  
三條議員

**Q** 片方ではコロナ対策で夏まつりを中止とし、片方では歌謡ショーを開催するなど、一貫性がないという話を町民からいただいた。事業に反対するものではないが、町民が納得する説明が必要ではないか。  
三條議員



浚渫を行った女満別川 (令和3年実施箇所)

一般会計補正予算(歳出)の主な内訳	
役場庁舎大規模改修工事	1億3,938万円
住吉公民館建設工事	8,000万円
広域穀類乾燥調製貯蔵施設外構工事	7,630万円
畑地かんがい施設移設工事	5,700万円
河川浚渫工事	7,000万円
住宅リフォーム事業補助金	600万円
大空町プレミアム商品券事業補助金	796万円
おおぞら歌謡ショー補助金	300万円
オホーツク大空町観光協会補助金	188万円
観光夏まつり補助金(中止により減額)	-359万円
開陽中央線測量設計委託料	2,200万円
大空消防署施設費負担金	1億8,819万円
エアコン取付工事实設計委託料(小中学校)	924万円
スクールバス購入費	2,517万円
女満別図書館大規模改修工事	6,662万円

### 廃屋等解体撤去推進事業について

## 町民及び所有者等への周知は丁寧にかつ徹底して

町長▶大空町空き家等対策計画内容周知に努力

**町長** 大空町廃棄物の処理及び清掃に関する条例に基づき、所有者に口頭、文書で指導を行っています。また、制度内容を十分理解いただけるよう周知に努めます。空き家等撤去に係る検

**問** 大空町空き家等対策計画は、所有者の管理責任を明確にし、廃屋等の適正管理に関し、町から助言指導、勧告、改善命令、罰金等がある。厳しい行政指導の前に住民周知を丁寧かつ徹底する必要がありますかと思う。空き家等撤去に係る検討会議の開催、協議会の設置等、今後の対応について見解を伺う。

**町長** 事業申請が減少傾向にあり、補助事業の継続可否を含め、見直しが必要な時期に来ていると考えています。

**問** 廃屋等の解体、撤去費用が膨らんでいる状況下にあるが、補助金の額を含め、事業内容の検討、見直しについての見解を伺う。



**町長** 空き家対策のみならず、すべての業務において適切な人事配置を常に意識しています。

**問** 課題解決にあたり、現状把握調査、所有者等への対応、新たな施策の検討や制度設計等、担当者の事務負担も多くなる。適切な人事配置が、適時的確な事業推進につながると思うが。

討会議は一度も開催していません。まずは会議を開き、情報把握、課題を整理します。その中で、危険家屋がある場合、所有者へ適正管理をお願いし、対応に結びつかない場合は、専門家を交えた協議会の設立を考えます。

### 東藻琴芝桜公園「花の手入れ」について

## 手づくりの花園を未来につなげるには

町長▶将来にわたり芝桜公園を守り育てることに努力

**問** 花の手入れの基本知恵と工夫、経験に裏打ちされた確かな知見だと思ふ。現場の方々の知識や経験を最大限に生かし、

現在、農業改良普及センター等関係機関と相談しながら、今後の対応について協議しています。

**町長** 満開宣言ができたのは、2年前からのコガネムシ大発生による被害と昨年の干ばつ、そして多くの芝桜の株が古くなっていることです。コガネムシ対策として、報告を受けた後、直ちに駆除剤等購入支援を行いました。また、芝桜まつり終了後から雑草除去作業に集中して取り組んでいます。

**問** 芝桜公園は、昭和52年から地域の方々の協力で植栽が始まった経緯があり、貴重な観光資源となっている。今年は、満開宣言をすることなく花の季節を終えたが、今後の対応策について伺う。

**町長** 花の現況を心配する町民の方からの声や、芝桜の活性化に協力させてほしいという声も寄せられています。芝桜公園の補植や植替は、ほとんどが急傾斜地であることや技術的なこともあり、芝桜の苗畑の雑草取りや植替え等に協力していただくことが可能か検討しています。



貴重な観光資源となっている芝桜公園

**町長** 芝桜の活性化は急務であると認識しており、1年でも早く満開に咲誇る芝桜に戻るように、公社や関係機関と協力し、町も支援していきます。

**問** 職員の活動に取り入れ、地域に出て活躍されることを期待したいと思ふが見解を伺う。

**町長** どの自治会地域担当もなるべく若手職員を配置するよう努めているところです。デジタル機械操作説明については、まちづくり出前講座もあります。地域担当を含め様々なものを活用していただき、自治会からの要請にできる限り対応していきます。



### 自治会活動への支援について

鈴木 秀之 議員

町からの情報を町民の方々へ分かりやすく伝え、協働のまちづくりを進めたいとの視点から質問しました。

## 自治会活動の振興で対話と交流を大切にしたい地域づくりを町長▶対話と協働のまちづくり実現へ向け支援

**問** 町民主体のまちづくりを進めるうえで、自治会活動の振興は重要な要素であり、各自治会の自主性を尊重し、自治会活動支援交付金等の有効活用を奨励していく必要があると思うが見解を伺う。

**町長** 自治会の町の支援については、自治会運営に対して支援する運営交付金と自治会活動に対する活動支援交付金があります。この二つの交付金で自治会活動の活性化に結びつく支援策を展開していきます。



コロナ感染予防品配布活動（北二自治会）

**問** 各自治会でのような活動に支援交付金を活用しているのか情報交流を行っているか。災害対策にしたい。

**町長** 自治会は、地域コミュニティの根幹であり、災害等では中心となり活動していくことも考えられます。また、各自治会活動の内容については、自治会連合会と協議し、特徴的な活動実施状況の情報提供について検討していきます。

**問** 誰一人取り残さない、人にやさしいデジタル社会を目指し、デジタル推進委員の募集がある。若手職員の得意分野であるデジタル技術に関する知見を地域担当

**町長** 制度開始後10年以上経過したことから見直しを図るため、自治会、職員それぞれにアンケートを実施予定していましたが、コロナ禍において実施できていません。今年度から少しずつ各自治会活動が行われる状況にあるので、職員を積極的に参加させ交流を図り、自治会活動の活性化を支援していきたいと思ふ。

**問** 地域担当業務は、休日や夜間など職員の勤務時間外の活動が多くなる。職員の代休の取得、手当の対応や心身の健康管理等に十分に配慮する必要があると思ふが見解を伺う。

**町長** 地域住民の行政サービスへの向上や健康でなければならぬと認識しています。地域担当業務以外でも健康管理には十分注意を払っていかなくてはならないと思ふ。



### デジタル化の推進について

川村 淳 議員

先日 2022 年の出生数は 81 万人との発表がありました。我々の世代で 200 万人。2040 年の労働人口は確実に減少し、対策としてスマート自治体は将来への投資です。

大空町では人口減少が喫緊の課題であり、各産業における後継者不足や地域活動を支える担い手不足、医療や介護への不安など、持続可能な地域社会を維持するために早急な対応が必要です。また、デジタル化の推進により遠隔で行われるサービスの導入の検討など、効率的なサービスの実現に有効な手段を選択しなければなりません。これらを踏まえ、多様化するニーズの対応と町民を主体とした自治の実現のため、これまで築いた仕組みを時代に合わせ

**町長** デジタル化の推進は、避けては通れないことは十分認識しています。大空町では人口減少が喫緊の課題であり、各産業における後継者不足や地域活動を支える担い手不足、医療や介護への不安など、持続可能な地域社会を維持するために早急な対応が必要です。また、デジタル化の推進により遠隔で行われるサービスの導入の検討など、効率的なサービスの実現に有効な手段を選択しなければなりません。これらを踏まえ、多様化するニーズの対応と町民を主体とした自治の実現のため、これまで築いた仕組みを時代に合わせ

今後、日本が本格的な人口減少と高齢化を迎える中、住民の暮らしと地域経済を守るためには、自治体が行政上の諸問題に的確に対応し、持続可能な形で、質の高い行政サービスを提供する必要があり、総務大臣主催の自治体戦略 2040 構想研究会では、早急に取り組むべき対応策を検討しています。

総務省自治体戦略 2040 構想研究会 第一次報告 (概要)

国が推進する自治体 DX の意義は、人口減少、高齢化による生産年齢人口の減少を背景に、行政サービスについてデジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化を図り、行政サービスのさらなる向上に繋げていくこととなっています。

自治体 DX によりペーパーレス化を図る取り組みが 1 番だと考えている。AI・RPA 等の ICT 活用により、職員の事務負担軽減や、行政手続きを紙から電子化にする事による町民の利便性向上に向けて、今後の取り組みについて伺う。

世界的に進められている SDGs、地球温暖化や森林資源を守っていくためにも、ペーパーレス化に取り組む時期にあると思っておりますので、意見をいただきながら検討したいと思っております。



自治体 DX によるペーパーレス化を図る取り組みが必要 (議員に配付される資料だけでも 1 年間でこの量となる)

**一口メモ** 自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)とは… 「行政分野において、デジタル技術で組織や業務をより良い方向に変化させること」を意味します。  
**RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)**とは… 「人が行なう定型なパソコン操作をソフトウェアのロボットが代替して自動化するもの」です。



### 在宅介護支援について

森賀 祐司 議員

初めての一般質問はとても緊張しました。どうしたら自分の考えをうまく伝えられるのだろうか？こんなに文章を考えたのは久しぶりです。次回はもう少し上手に出来る様に頑張ります。

現在、本町でショートステイを利用できる施設は、女満別リゾート苑と東藻琴福寿苑の 2 事業所で、それぞれ 10 床ずつ用意されています。前月に利用調整をするため、利用を希望する場合は早目の申し込みをさせていただく必要があります。ショートステイサービスの利用状況については、施設担当者に確認したところ、おおむね希望どおり、サービスを提供でき



家族の体調不良等の突発的な理由で町内でのショートステイの利用希望する際、事業者側の都合でサービスを利用できなかった事例があったと聞いている。支援を必要とする方に十分なサービスを提供できる体制づくり、対応についての考えを伺う。

65 歳以上の高齢者人口は、大空町は現在がピークで、要介護者が増える後期高齢人口は 2030 年まで増えていく見込みとなっており、在宅での要介護者も増えていくということが予想

これから高齢者の人口は増えていくと考えられる。在宅での要介護者が必要とする支援サービスを受けられるようにするために、今後の体制対応をどのようにしていくのか伺う。

また、介護量が多い対象者がショートステイを利用する際、施設として入所される方の安全のために人的配置を一時的に厚くして、安全を確保した上でサービスが利用できるような仕組みづくりを、今回の定例会の補正予算で提案しています。現在、第 8 期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の中間年にあり、政策目標で、安心して暮らし続けられるための居場所づくりとして、介護サービスの充実強化を挙げており、その一環として今回の提案させていただきます。

**一口メモ** ショートステイとは… 在宅介護中の高齢者の心身の状況や病状に合わせて、介護する方の介護負担軽減や一時的に介護ができない場合の介護をする目的で、短期間施設に入所し、日常生活全般の介護を受けることができるサービスの事です。

必要とするサービスを提供できる体制づくりを町長 次期介護保険事業計画に盛り込みたい

由には、ベッドに空きがないこと、サービス利用のための契約等の準備が終わっていないこと、対象となる方の介護量が多く、通常のサービス体制では安全に過ごしていたことが難しい場合などが挙げられています。ベッドに空きがない場合には、ケアマネジャーを通じて近隣の他施設利用を検討するほか、その対象者の状況に合わせて対応させていただいていくのが実態となっています。

そのような中で、要介護者が急遽必要が出たときに、いつでも対応できるベッドを確保する場合、施設を 1 床空けておくこととなり、計画的にショートステイを利用したい人の利用ベッドが 1 床減ってしまつていくことにもなり、正直難しいという実態です。まずはケアプランの作成、事業所等に契約をしていただくよう働きかけたいと考えています。

いた仕組みづくりを行つたところです。今後、令和 6 年度の第 9 期計画の策定に向けて、今年度中にニーズ調査を実施し、施設介護サービスや在宅介護サービスのあり方、内容について十分に検討し、次期計画に盛り込みたいと考えています。福祉環境の充実強化を今後も行っていかなくてはならないと考えています。

### 武道の振興について

## 武道を習う子どもや指導者が減っているが 教育長▶まずは指導者の発掘や育成などに取り組みたい

**教育長** 大空町内のスポーツ少年団加盟団体は10団体あり、そのうち武道の団体は、柔道少年団が2団体、相撲及び空手少年団がそれぞれ1団体の合計4団体あります。3月までは、この4団体のほかに、女満別地区において剣道少年団が活動していました。役員がいなくなりましたが、団員が減少しながら脱退しています。

**問** 全国的に少子化により武道を習う子どもたちが減っている。武道は武技、武術から発生した我が国固有の文化であり、積極的に取り組むことを通じて、武道の伝統的な考え方を理解し、相手を尊重したり、礼節を学ぶこともできる。そのようなこともあり、文部科学省の中学校学習指導要領の改訂により中学校保健体育において武道を必修化しているが、大空町の取り組みの現状はどのようなものか。併せて町内にある団体等の活動についても伺う。

**問** 大空高等学校女満別キャンパスの利用について、現在一部の施設において、地域開放事業の一環として空手や剣道等の団体等が利用されているが、今後整備などの考えはあるのか伺う。

それぞれの団体の活動状況は、女満別地区の柔道少年団は会員登録数5名と指導者登録者数3名で、女満別武道館において活動しています。東藻琴地区の柔道少年団は会員登録者数8名と指導者登録者数6名で、東藻琴B&G海洋センターの武道場で活動しています。相撲少年団は会員登録者数16名と指導者登録者数2名で、東藻琴相撲場で活動しています。空手少年団は、会員登録者数18名と指導者登録者数2名で、大空高等学校女満別校舎の格技場、学校開放事業の位置づけで施設を開放して活動しています。一方、女満別中学校では外部講師の女満別柔道協会が柔道を、東藻琴中学校では体育教師が相撲を指導しています。



学校開放事業で利用されている女満別キャンパスの柔剣道場

**教育長** 現在、大空高等学校女満別校舎の柔剣道場は、空手道協会及び剣道連盟が学校開放事業によって利用しています。この事業に関しては、社会教育及び地域活動の推進を図る観点から、教育委員会が所管する学校施設を公正に利用してもらうため、規則に基づいて広く利用促進しているところですが、また、一方で学校であることから、教育活動が優先され、学

校施設の保全に反することがないように利用者の皆様にもご理解をいただいています。新たに整備することは考えていませんが、将来的な校舎の利用方法も含め、用途に即した敷地の使い方を検討する必要がありますと認識しています。ただ、今年度につきましては、生徒が教育活動を行っており、安全な教育環境を保障することが肝要だと考えています。

**教育長** 現在、生涯学習課では、大空町団体をPRするとともに生涯学習リーダーネットという指導者登録制度の整備もあわせて行っていることから、指導者の登録を呼びかけ、地域住民への積極的な指導や交流の展開が行われるよう努めたいと思います。現在、どの団体にも所属しない武道の経験者は潜在していると思えますので、愛好者を発掘し生涯スポーツの普及、促進及び健康づくりの観点からも教育委員会として武道の振興に取り組みたいと思います。

**問** 昔は有段者の教員がいて、地域活動にも熱心に取り組んでいただけ、武道の少年団活動にも積極的に取り組んでいただけの方がいた。是非、有段者の先生がいたら紹介いただけないか。稽古を通じて地域の課題も語り合う機会などにも参加をいただきたいと思うが。



### 今後のごみ処理の取り組みについて

上地 史隆 議員

何回しても質問は難しいですね・・・ですが、任期中は可能な限り一般質問したいと思っておりますので、皆様にはこれからのご指導いただきますようお願い申し上げます。

## 慎重に広域処理を進めて欲しい

### 町長▶住民が不安にならないように進めていきたい

**問** 一般廃棄物最終処分場については、平成16年に埋立容量3万4,900m<sup>3</sup>で供用を開始し、今年で18年を迎えようとしている。現在の埋め立て可能残量はどのようになっていくのか伺う。

**町長** リサイクルセンターは、23年が経過しています。一般廃棄物焼却処理施設は、計画的な修繕を行っています。計画的な修繕を行っていき、計器類の老朽化や交換部品が製造されていないことにより修繕費用が増加してきており、施設の維持管理費用が膨大に係ることが懸念されます。しかしながら、次期施設の整備について検討を始めたところです。中間処理施設である焼却処理施設の整備につきましては、国の交付金制度を活用するためには広域が条件となっていますので、現在、網走市、斜里町、小清水町、美幌町の1市4町での広域による整備について検討を行っているところです。

**町長** 今年4月の測量結果において8,151m<sup>3</sup>となっています。令和元年に木材破砕機、令和3年に粗大ごみなど破砕できる廃棄物切断機を導入し、埋め立てごみを可能な限り破砕するなどの対策と町民皆様の分別への協力もあり減容量が図られ、埋立地が満杯になるまで10年ほど見込めるような状況にあります。

**問** リサイクルセンター、一般廃棄物焼却処理施設は、老朽化しているが、現状について伺う。

**町長** 人口減少や廃棄物の減量化、再資源化推進のための処理方法の見直し、施設の老朽化による維持管理費の増大により、廃棄物処理経費が高額となってきたことから、適正な料金への見直しが必要と考え、令和2年10月に廃棄物減量等推進審議会を設置して、審議を開始しました。



広域での整備を検討している焼却処理施設

**問** 大空町は平成17年にごみ袋の有料化を導入したが、令和2年に大空町廃棄物減量等推進審議会を設置し、審議会の答申を受けて手数料の見直しに今回着手をしたが、今後どのように進めていくのか伺う。

**町長** 広域による処理の検討を優先していきたくという説明をしてきましたが、難しいというところであれば単独での整備ということも含め考えていかなければならないと考えています。一般廃棄物焼却処理施設に連動して考えるとしますので、併せて検討を重ねます。また、焼却処理施設の広域の状況は、情報だけ

**町長** 在宅での介護が必要な高齢の方や障害のある方で紙おむつを使用されている場合は、現在の社会情勢を踏まえ、経済的負担軽減の必要性が増していることから、手数料の改定期日である令和4年10月1日に間に合うように取り組みの準備を進めたいと考えています。

**問** ごみ処理手数料の見直しについて1番心配しているのがおむつ類であり、在宅介護をされている方や年金暮らしの方は、値段が上がるで大変になるのではないかと考える。そういう方に対する軽減策はないか。

農業振興策について

三條 幸夫 議員

時を重ねると、「今まで見えていなかった物事が見えてくる」と、自分に言い聞かせて、2期目の議員の仕事にしっかりと取り組ませていただきます。町民皆様からのご意見をお待ちしています。



農業用資材の高騰への対応と防除用水の確保は

町長 関係機関の動向を注視しながら支援、確保に努める

【問】 急速な円安やコロナ禍により、農業用生産資材の高騰、家畜飼料の値上がりなどを含め、農業経営に大きな負担となるのが心配されている。農林水産省などが対応策を検討しているが、農業関係者の不安はつるばかりだと思つ。町の対応は国の方針が固まっているからと思つが、できるだけ早く情報収集し、農協等と連携をしながら、その対策を講ずるべきであり、町としてどう応援できるか伺つ。また、農業生産に欠かすことができない防除用水施設の町内の現況と未整備地区への今後の対応について伺つ。

【町長】 生産コスト高への世界的な穀物需要の増加に加え、円安や輸送費の上昇などにより、燃料、



家畜の飼料等も価格の高騰が懸念されている

穀物、肥料、飼料等の価格高騰が続いています。現在の状況についてはホクレンは、6月から来年5月の化学肥料価格をリン酸アンモニウムや塩化カリウム等の主要11品目の平均で過去最大の、前年度比78.5%の値上げをしたと発表しました。日本は肥料原料のほぼ全量を輸入に頼っており、価格は世界的な穀物需要の増加や中国による肥料の輸出規制を受けて上昇しており、また円安の影響もあって、さらに厳しい状況となっております。今月、閣議決定された政府における骨太の方針では、農産品生産コストの1割削減を目指し、肥料高騰への新しい支援金を創設する考えを示しました。また、農林水産省では肥料高騰を受けた農家支援策として、燃料や配合飼料の高騰分を補填する現行の枠組みに肥料を追加する案や、激減緩和措置として農家に直接補助金を支給することも視野に入れています。

こうした国や北海道の動向に注視しながら、「J」と連携を密にし、町として農家に対してどのような支援ができるのか考えます。農業用防除用水施設の現状と未整備地域への今後の対応については、道営事業により整備された畑地かんがい区域内、女満別地区で、中央、大東、大成、巴沢の102戸が畑地かんがい用水を防除用水として使用。団体営事業で整備された湖南、昭和地域の19戸が営農飲雑用水を防除用水として使用。道営事業、団体営事業で整備された給水栓以外の施設については、大空町が管理。女満別住吉地域では、国営事業で整備した防除用水施設を使用。大空町で把握している補助事業等以外の防除用水の利用状況は、水田用水として水利権を取得している女満別本郷、住吉、豊里地域は用水路もしくは用水を吐いた排水路から取水して、防除用水として利用。用水路の管理は網走川土地改良区、排水路の管理は大空町、網走川土地改良区が行っています。また、女満別朝日地域につきましては2戸が東部高台地区簡易水道水を防除用水として使用。東藻琴大進地域は普通河川から取水し、防除用水として使用しています。

町、網走川土地改良区が整備されない地域の今後の対応については、農業用防除用水施設は通常水田は畑地かんがいの用水路整備の附帯設備として整備しているもので、用水路等を整備せず、農業用防除用水施設を整備することも可能ですが、採択要件が厳しく、古梅ダム、緑ダムの余剰水により畑地かんがい未整備区域の整備を検討しており、その整備と併せて、農業用防除用水施設の整備についても検討してまいりたいと考えています。また、女満別本郷、住吉、豊里地域については、水田用水を利用した防除用水施設の整備について、網走川土地改良区と協議し整備したいと考えています。

問

農業が主な産業の大空町にとって、農業生産資材の高騰は農業経営者のほか、町の経済に大きな影響を及ぼすことが予想される。国の動向を早めに把握し、対策を講じることが必要だと思つ。防除用水の確保は、いろいろ制約もある中で難しいこともあると思つ。補助事業で対応できることは早目に対応すべきだと思つが、例えば、現在の畑かん区域内で利用する事が可能か伺つ。

【町長】 生産コスト高への世界的な穀物需要の増加に加え、円安や輸送費の上昇などにより、燃料、

町長

農業資材の高騰に伴う農家への支援は、物価高騰分として国からの交付金もあります。町民の皆さんの物価高騰分に対する支援と、町として基幹産業である農林業を支援することが何かできないか考えています。畑かんの水は、開発局の調査で、地域の営農の変化に伴って古梅ダムの用水に余



干ばつ等で大きな役割を担っている古梅ダム

通学路の安全確保について

通学路の死角力所の把握と安全対策は

教育長 ▶ 子どもたちの安心・安全な環境の保障に努める

問

子どもの通学路は整備されているが、草木が繁茂するなどしている箇所はないか、今後の防犯カメラの設置、安全の確認など、子どもを持つ親にとって通学の安全性は常に気になる一つだと思つ。不審者の犯罪は子どもたちが通る通学路が多いと言われている。これから夏に向けて草木が生い茂り、見えない範囲が増える。交通安全対策と併せて、通学路の死角となる箇所の把握と対策、防犯カメラを設置するなど、不審者対策をしっかりと講ずるべきと考えるが、

メラの設置については、令和3年に女満別小学校前の通学路に1台設置し、犯罪を未然に防ぐための抑止効果を期待するところです。今後不審者巡視と併せて、通学路の防犯対策の強化に向けた取り組みとして、防犯カメラの設置を大空町交通安全防犯推進委員会と協議をしながら進めます。犯罪は、いつでもどこでも発生するものと肝に命じるとともに、油断することなく、日ごろの安全対策、防犯対策に万全を期してまいります。

教育長

通学路の安全確保については、歩道整備やカーブミラー、回転灯、街路灯の設置などが進められており、安全性の向上が図られています。通学路沿道の死角となりそうな樹木等については、他課と連携をしながら定期的に点検し、通学路の環境整備に努めています。また、通学路の防犯力



女満別小学校前の通学路に設置している防犯カメラ

問

通学路の安全確保は、教育委員会だけでは解決されない課題もあると思つが、教育

教育長

青少年健全育成指導員には、町内の危険箇所を調査把握し、地域ぐるみで子どもたちの安全を守る子ども110番の家の登録箇所を掲載した防犯マップを作成し、子どもたちへの注意喚起や犯罪抑止の取り組みにご尽力をいただいております。教育委員会として、今後も町内各関係団体や関係機関との連携を一層深め、子どもたちの安全、安心な環境を保障したいと考えています。

### 北海道町村議会議員研修会に参加しました

7月6日、札幌コンベンションセンターで北海道町村議会議員研修会が開催されました。政治ジャーナリストの泉 宏氏による「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」を演目とした講演があり、議員全員が参加し、受講しました。



### 視察調査を実施しました

今後5年間コメを作らない転作畑は「水田活用の直接支払い交付金」の対象外とする農林水産省の方針を受け、稲作と畑作のローテーションを組み復田に取り組んでいる剣淵町の農家を訪問しました。昨年はバレイショを育てた110アールの乾いた田に種もみを直接まく乾田直播用品種の「えみまる」を作付けし、畑作用機械を活用して復田しているということで、水田用機械を導入する初期投資をせずに取り組める点は、とても参考になりました。



### 農林水産省が方針を出した「水田活用の直接支払い交付金の厳格化」とは

消費が落ち込む主食用米から麦や大豆等の他作物への転作を促すために生産農家に支払われている「水田活用の直接支払い交付金」について、農林水産省は、今後5年間、水張り（水稲の作付け）を一度も行わない農地を対象から除外する方針を示しました。大空町では大豆や小麦などへの転作が進み、令和3年度は116戸に年額4億3,000万円が交付されており、厳格化が実施された場合は影響が大きく、廃業を検討する農業者も出る可能性があると考えられています。

### 議会の傍聴はお気軽に!

- ◆ 定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆ 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

9月定例会は、**9月13日(火)から**開かれる予定です。

※新型コロナウイルス感染症対策のためマスクの着用・手指の消毒をお願いします。

## 行政サービス「書かない窓口」について



後藤 忍 議員

大空町では、町民を主体とした行政運営を行うために「第4次大空町行政改革推進計画」を策定しています。



スピード感を持って行政サービスの向上を進めることが必要ではないか  
町長▶ 試行錯誤しながら、新たな行政サービス、デジタル化を検討する

**問** 窓口サービスの現状と課題について伺いたい。

**町長** 大空町では、住民票、戸籍及び印鑑証明等の発行に関する窓口サービスに女満別地区で3人、東藻琴地区は2人の職員が業務にあたり、令和3年度は女満別地区で5,463件、東藻琴地区で2,444件を発行しています。このほか、転入、転出、出生死亡、婚姻等の届け出など、町民皆様のライフスタイルの変化に伴ってさまざまな届け出を受け付けし、住民基本台帳の管理にあたっては、これらの届け出に付随して健康保険や年金、各種手当、各種税の手続きなどが必要となる場合には、担当課の窓口をご案内する、もしくは、必要に応じて担当を呼び、説明や

手続きを行っています。課題としては、住民票や戸籍の手続きだけではなく、町営住宅や上下水道担当へご案内し、もれなく、そしてワンストップでスムーズな手続きにつなげる必要があるものと認識しています。

**問**

大空町では、役場庁舎の大規模改修が予定されているが、ハード面のみではなく、行政サービスの向上に向けてソフト面も充実させていったほうが良いと考え

る。北見市の窓口支援システム及び書かないワンストップ窓口の取り組みについて、町の見解を伺う。

**町長**

北見市の窓口支援システム、書かないワンストップ窓口化については、来庁される方

の利便性の向上や窓口業務の改善を図ることで、さらなるサービスの向上につなげられることにメリットがあると考えます。本町においても参考となるものであり、第4次大空町行政改革推進計画に位置づけた窓口事務改善の項目は、北見市の取り組みを参考として、導入できるかどうか、先進事例として視察し検討することを想定したものです。

大空町において導入するには、現状の課題を洗い出し、北見市の事例も参考としつつ、大空町ならではの仕組みを構築する必要がありと考えます。課題の一つとして、現在運用している各業務のシステムとの整合、将来の活用方法を踏まえる必要があり、併せて導入コスト及びランニングコストについて効果を見合っ

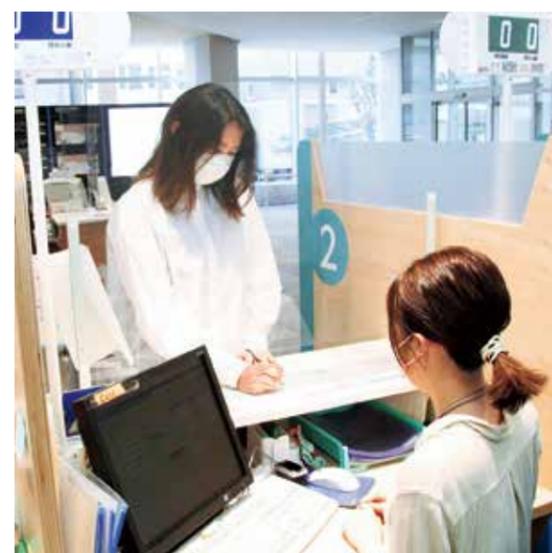
経費としていく必要があります。システムの導入に係る財源を確保する観点では、国の交付金制度を活用することも重要な要素の一つであると考えます。

北見市の取り組みは、近くにある優れた事例と捉えており、大空町に合ったワンストップ窓口の仕組みの構築に向けて、行政サービス向上を第一に考え、第4次大空町行政改革推進計画に基づき、令和4年度に調査を行い、さまざまな課題を整理したいと考えています。



書かない窓口とは、住民の方々が窓口で申請を書く手間をなくし、複数の手続きが一度で済むワンストップサービスです。

北見市で行われている「窓口支援システム」および「書かないワンストップ窓口」は、現在、国や他自治体の注目を集めています。



窓口支援システムを利用した北見市役所の対応風景

# しょうらい みす まちの将来を見据えて



～総務厚生・産業建設文教 両常任委員会で「所管 事務調査」を実施しました～

7月25日に産業建設文教常任委員会、8月4日に総務厚生常任委員会が、それぞれ所管する事務の中から今チェックすべき施設等を調査しました。その内容について、主なものをお知らせいたします。

Q 所管事務調査とは？ 議会が自主的に常任委員会で所管する事務を取り上げ、積極的に調査するもの。委員の認識や理解を深め、専門的審査を高めるために行います。

## 産業建設文教常任委員会



松岡委員 後藤委員長 川村副委員長 齋藤委員 原本議長 森賀委員 福田委員

## 総務厚生常任委員会



大泉委員 鈴木委員 三條委員長 岩原副委員長 原本議長 上地委員



フードセキュリティ対策対応の手選別室



調理施設系統の外調機を確認



良好な水質、十分な水量が確保できる第1水源



更新した情報監視装置を確認

### ①施設状況と運営について【オホーツクビーンズファクトリー】

- ・豆類の作付面積がここ数年で急増し、増加する生産量に対し必要な調整・保管能力のある施設整備が急務となり、既存施設の増強および増設することについて説明を受けた。
- ・施設はフードセキュリティ対策を取り入れた最新のもので、高級菜豆類は手選別で最終処理されている。手選別の人員17名のうち2名は障がい者福祉施設「ちあふる」から派遣されており、農福連携に取り組んでいることが確認できた。

### ②管理運営について【女満別給食センター】

- ・昨年故障した吸気ファン用インバーターは、調理施設から排気される湿気による結露が外調機内部に侵入し、吸気インバーターの基盤がショートして焼き付いたことによるものと説明を受けた。

### ③施設状況について【東藻琴第1水源、高区配水池】

- ・東藻琴第1水源の水質は、非常に良好な水質であることの説明を受けた。今年は常に水量がオーバーフローし、十分な量が確保されていることを確認した。
- ・東藻琴高区配水池では第1水源からの原水を滅菌処理し、中区、福富、東洋配水池へ浄水を送水していることの説明を受けた。

### ④施設状況および設備について【古梅ダム】

- ・防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策により、ダム諸量処理設備、テレメーター観測設備、提体観測装置が更新され、日々のダム施設運営がされていることを確認した。

### ⑤緊急浚渫推進事業について【普通河川女満別川】

- ・令和3年度に浚渫が行われた区間と令和4年度に行われる予定の区間を比較したが、その差は歴然としており、今後の異常気象による大雨などの排水処理には大変重要な事業であることが確認できた。



修繕が実施された東陽団地



延命が図られている最終処分場



コロナ禍での診療状況について懇談



黒字経営で推移している地域振興施設

### ①公営住宅の居室修繕状況について【東陽団地、つつじ団地】

- ・東陽団地は、クロス、床の修繕等が行われているが、台所、脱衣室、風呂、ふすまなどで改善の余地があることを確認した。
- ・つつじ団地は、入居希望者に満足していただける内装工事が行われているが、草刈り等周辺環境への配慮が必要であることを確認した。

### ②ゴミ関連施設の管理運営状況について【リサイクルセンター、一般廃棄物最終処分場、一般廃棄物焼却処理施設】

- ・リサイクルセンターでの分類後に「ごみ」となる量は、1週間で玉ねぎコンテナ15基程度あるとの説明を受けた。さらなる分別の徹底のため、見学会の開催などによる住民PRが必要だと確認した。
- ・最終処分場は住民皆さんの協力で延命が図られ、今後8年程度維持することが可能との説明を受けた。新たな処分場建設は国の動向、他市町村の事例を参考に、焼却施設と並行して進めることが必要と思われる、委員会として注視していく必要があることを確認した。
- ・現在、広域での焼却施設が検討されているが、当面は既存施設を維持するため、委員会としても逐次確認が必要であることを確認した。

### ③コロナ禍での診療状況について【東藻琴歯科診療所、東藻琴診療所】

- ・コロナ禍における歯科診療の影響等について、医師と懇談を行った。地域に取って欠かすことのできない診療所であり、地域医療を確保する観点から、今後も注視していく必要があると思われる。
- ・東藻琴の地域医療は、診療所の医師1人が支えてくれており、医療機器の導入支援は当然、スタッフの確保に苦労されないことがないよう注視していくことが必要であることを確認した。

### ④施設運営状況について【東藻琴地域振興施設】

- ・事業損益ではコロナ禍前に戻りつつあり、順調に推移していることを確認した。冬期間等、利用が低迷する時期があり、施設の稼働率を高めるための工夫が必要であることを確認した。

# Voice 町民の声

## 松川新町政に

## 期待しています



たか はし はじめ  
高 橋 肇 さん  
(JAめまんべつ専務理事)

今年4月に町長、町議会議員選挙がおこなわれ、松川新町政がスタートして約3ヶ月が経ちましたね。町議会も一新された大空町の新たな船出に町民の一人として、大いに期待しています。

今、世の中は新型コロナウイルスの収束が見えず、ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響で燃油高騰、多品目に渡る物価上昇で、出口の見えない不安の中にあります。この状況を何とか切り抜けていくためにも、行政、

町議会と農協、建設業、商工会などの民間が互いに協力していかなければならないと思い、私も微力ながら協力できればと考えております。

大変厳しい時代ですが、これから10年、20年先の大空町が今よりも住みやすい街になっているように、松川新町長、原本新議長をはじめ、町議会議員の皆さんよろしくお祈りします。

### なつかしの校舎



女満別町立湖南小学校

大正9年に女満別小学校所属湖南特別教授場として設置され、昭和27年に湖南小学校として独立しましたが、交通機関の発達により生徒数が減少し、昭和39年に女満別小学校に統合されました。

### 営業品目

- ・建築資材の販売
- ・杭工事
- ・内外装仕上工事
- ・地盤改良工事
- ・家具工事
- ・防水工事
- ・厨房設備工事
- ・断熱工事

ハウス・デポ「フラット35」取扱店  
住宅完成保証「ハートシステム」取扱店  
通気断熱WB工法特約店



株式会社 **iwahara 岩原**

代表取締役 村田 龍 哉

〒099-2310

網走郡大空町女満別本通4丁目1番7号

TEL 0152-74-4012 FAX 0152-74-2004

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

## 編集後記

皆さんは大河ドラマを見られていますか。

現在は、三谷幸喜さんが脚本した鎌倉殿の13人が放送されています。平安末期から鎌倉前期を舞台に、歴史書「吾妻鏡」をベースとした源平合戦と鎌倉幕府が誕生する過程で繰り広げられる権力の座を巡る駆け引きを、その勝利者、北条義時を主人公として展開するユーモアを交えたホームドラマのような描写とともに徹底して無情で陰惨な粛清劇が描かれる作品です。

今後どのようなようになっていくのか楽しみにしていますが、議会だよりも同じように皆様が手に取って、次はどのようなものだろうと期待させる編集が広報委員会で作られたらと思っています。

(上地)

### 議会広報常任委員会

私たちが編集しました

- 議長 原本哲己(発行責任者)
- 委員 鈴木秀之
- 副委員長 上地史隆
- 委員 森賀祐司
- 委員 福田淳一
- 委員 大泉知功

今後ともよろしくお祈りいたします。



本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

議会だより「おおぞら」  
第65号

発行/大空町議会  
編集/議会広報常任委員会  
印刷/株式会社須田製版

住所/〒099-2392 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号  
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191  
ホームページ http://www.town.ozora.hokkaido.jp

